

中学1年生のディベート論題選定

ディベート学習のねらい

中学1年生で行うディベートとして、以下のねらいを設定しました。

- 両者が、相互の立場を理解しようと努力し、相手の論破ではなく、問題の解決に立ち向かうようにすること。
- 情報を収集し合い活用すること、論理的に考え説得できるように述べること、相手の立場を尊重し自分の考えを深めること。
- 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。
- 自分の考えや気持ちを的確に話すために、ふさわしい話題を選び出すこと。

生活経験に密着した取り組みやすい論題の選定

生徒が互いに出し合った論題の中から、二者択一になっているかなどの条件を設定して絞り込んでいきました。その中から以下のように各学級とも希望の多い順に3つを選定しました。

〈1年A組〉

- 手紙とメールどちらが利用しやすいか。
- 住むなら都会と田舎どちらがいいか。
- 中学生には制服と私服どちらがいいか。

〈1年B組〉

- 動物園と水族館どちらが楽しいか。
- 夏休みに行くなら海と山どちらがいいか。
- 男と女どちらが得か。

〈1年C組〉

- マンガとアニメどちらがおもしろいか。
- 住むなら都会と田舎どちらがいいか。
- 男と女どちらが得か。

〈1年D組〉

- 夏と冬どちらがいいか。
- 男と女どちらが得か。
- 中学生は携帯電話をもってもよいか。

選定はされませんでした。中には以下のように、ぜひ生徒のディベートを見てみたかったものもありました。ディベートを行うことで、考えが深まり、知的なおもしろさを感じることができるであろう論題候補でした。

- 方言と共通語
- 制服と私服
- ディベートとパネルディスカッション
- 高校進学と就職
- 新聞とテレビ
- 世界共通語
- 小学校と中学校